

「公益信託ENEOS水素基金」2010年度 助成対象者決定について

～水素エネルギーによる持続可能な社会の実現に向けて～

記者各位

当社(社長:木村 康)が設立した「公益信託ENEOS水素基金(運営委員長:太田 健一郎 横浜国立大学大学院教授、受託者:中央三井信託銀行)」は、この度、2010年度の助成対象者を次の6名に決定しましたのでお知らせいたします。

(敬称略)

加藤 英樹	東北大学多元物質科学研究所 講師
金子 克美	信州大学エキゾチックカーボンの創成と応用プロジェクト拠点 特別特認教授
岩本 雄二	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授
小曽根 崇	理化学研究所播磨研究所 特別研究員
依馬 正	岡山大学大学院自然科学研究科 准教授
長尾 宏隆	上智大学理工学部物質生命理工学科 教授

水素は既に燃料電池等に利用され、CO2排出量の大幅な削減を実現するためのエネルギーとして期待されていますが、実用的なエネルギーシステムとして本格的に普及させるためには、更なる技術革新が必要です。

こうしたなか、当社は、独創的かつ先導的な基礎研究への助成を通じて、水素エネルギー社会の早期実現に貢献することを目的に、2006年3月、本基金を設立しました。

本基金は、水素エネルギー供給に関する研究助成に特化したわが国初の公益信託で、年間総額5千万円(1件あたり最大1千万円)の研究助成金を、約30年間にわたり安定的に交付することが可能な規模を有しています。



本年度は、51件の応募の中から、本基金の運営委員会による厳正な審査を経て、上記助成対象者を決定しました。

当社は、水素エネルギーによる持続可能な社会の実現を目指し、本基金設立のほか、「水素供給・利用技術研究組合」への参加を通じ、2015年からの燃料電池自動車(FCV)の普及開始に合わせた水素供給インフラ整備に向けて、社会実証試験に取り組んでおります。

以上

添付資料 : 2010年度 助成対象者および研究テーマ
「公益信託ENEOS水素基金」の概要

● 別添資料

-  [2010年度 助成対象者および研究テーマ \(PDF:97.2 KB/1ページ\)](#)
-  [「公益信託ENEOS水素基金」の概要 \(PDF:133.2 KB/1ページ\)](#)